

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数科 たし算とひき算の筆算
学年	小学校第3学年
目標	フローチャートを考えることを通して、ひき算のひっ算の仕方について理解を深める。
教材タイプ	コンピュータを使わない
使用教材	フローチャート
都道府県	島根県
実施校	益田市・吉賀町・津和野町内小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>算数の指導計画には入れていないが、足し算と引き算の筆算の仕方についての理解を深めるために、フローチャートを使ったプログラミングを行った。(全4時間)</p> <p>第1時 身近な生活の中でのプログラミングを考える。</p> <p>第2時 2桁+2桁、2桁-2桁の簡単な筆算についてのプログラミングを考える。</p> <p>第3時 3桁-3桁の筆算についてのプログラミングを考える。(前半)</p> <p>第4時 3桁-3桁の筆算についてのプログラミングを考える。(後半)</p> <p><u>第3時の学習展開</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時を振り返る 引き算でフローチャートを作ったことを振り返る。 2 課題をつかむ 「くり下がりのあるひき算のひっ算の順序を図に表そう」 3 全体追究 繰り下がりのない筆算や十の位の計算時に繰り下がりの必要な引き算の筆算のフローチャートを全体で考える。 ※「～の位を計算する」「～の位から繰り下げる」「引ける」「引けない」など、フローチャートを作るうえで必要な言葉を引き出していく。 ※フローチャートの型を示し、言葉を当てはめていく。 4 個人追究 繰り下がりのある引き算を提示する。 5 全体追究 根拠を引き出しながらフローチャートを完成させる。 6 まとめ・振り返り
成果と課題	<p>初めての学習で、3年生には難しいのではないかと考えたが、身近な生活の中でのプログラミングや簡単な筆算のプログラミングから段階的に行ったことで、子どもたちは積極的に取り組んでいた。また、準備に時間はかかったが、児童用のワークシート、ブロックを用意することで、児童は自分で操作でき、意欲的に取り組むことができた。</p>

